学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽発表Ａ	単位数	２単位	年次	２or３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、音楽を楽しむことを大切にし、それぞれの音楽経験に応じて歌唱や器楽演奏の技能を身に付けます。
・課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・プリントを綴じるファイルを用意してください。
・練習レポートや感想シートはあなたの考えたこと、感じたことを具体的に書いてください。
・受け身にならないように注意してください。グループで練習をすることが多いので、特に欠席しないようにしてください。

2　学習の到達目標

音楽に関する専門的な学習を通して、音楽表現に必要な知識や技能を習得するとともに、感性を働かせて、他者と協働しながら音楽を表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。
（２）与えられた題材について、学んで得た知識で自己のイメージを膨らませたり、表現を工夫したり、他者と協働して表現することの良さを考えたり、感じとることができるようにする。
（３）主体的・協働的に活動に取り組み、他者との調和を意識し、音楽によって生活を豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	お互いの声を聴きあって歌おう	【合唱】 ・心の瞳	a:【知】合唱による表現上の効果について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b:和声の響きを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	ギターアンサンブルを楽しもう	【ギターアンサンブル】 ・チェリー	a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け演奏で表している。 b:音色、旋律、和声、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

	リズムアンサンブルに挑戦	【器楽】 ・クラッピングカルテット	a:【知】曲想と音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法などの技能を身に付けるとともに他者との協働を意識して、リズム演奏で表している。 b:リズム・強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リズムアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	美しいハーモニーを創ろう	【合唱】 ・YELL（いきものがかり） ・COSMOS	a:【知】各声部の特徴や役割を理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b:各声部の特徴や役割を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

	楽器の特徴を生かしたアンサンブルの楽しみ	【器楽アンサンブル】 ・ルパン三世のテーマ	a:【知】自分で選択した楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け演奏で表している。 b:アンサンブルをすることから生まれる和声、リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:自分で選択した楽器の音色にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート
	舞台芸術の世界	【鑑賞】 ・アニー	a:【知】ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解している。 b:旋律・リズム・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:ミュージカルという表現方法に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 ワークシート

3学期	想いをこめて歌おう	【歌唱】 ・道	a:【知】各声部の特徴や役割を合理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、他者との調和を意識して歌唱で表している。 b:各パートの役割について意見を交換し、共通のイメージをつくり、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲にふさわしいイメージをもって演奏したり、互いに聴き合う学習に関心をもち、演奏する喜びを感じながら主体的・協働的に合唱の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシート	観察 ワークシート
	弾き歌いに挑戦	【ピアノによる弾き歌い】 ・栄光の架け橋	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】弾きながら歌うという二つのことを同時に行うために必要な技能を身に付け、演奏と歌唱で表している。 b:旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもっている。 c:弾きながら歌うことに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度